

全国自立援助ホーム協議会 第26回 神奈川・横浜大会

自立援助ホームの未来を見据えて～社会的養育における自立援助ホームの可能性～

〈趣 旨〉 全国自立援助ホーム協議会は昨年度に四半世紀の節目を迎えました。今年度は新しい社会的養育ビジョンを踏まえた都道府県社会的養育推進計画が各自治体で策定される年度となります。家庭養育を中心とした社会的養育を見据え、施設養護は大転換を余儀なくされるかもしれません。その様な過渡期中、自立援助ホームの存在意義とは何かを考える必要があります。社会的養護自立支援事業が予算化された現在、施設養護と類似する機能を展開するだけでは自立援助ホームの価値を問われます。法制度の狭間を補完すべく先駆的に自立支援を展開してきた自立援助ホームにとって対象となる入居者は、もはや施設養護や児童相談所からだけではありません。全国の虐待相談受付件数から施設養護でケアされる児童は1割にも満たず、施設養護で提供される各種の自立支援は、児童相談所一時保護から施設にも入れず行き場をなくしている児童には、同様の支援が提供されないという格差を生んでいます。児童相談所に辿りつかない要保護児童も多く存在します。昨今の子どもの貧困問題で明るみになりつつある「埋もれた社会的養護児童」の存在は、生活保護世帯や生活保護も受けられない困窮世帯で自立の機会を失っていると言われてしています。

この大会では、社会的養護から社会的養育と広がりを見せた今、従来の社会的養護の一段外側を見据え、本当に支援を必要としている児童に、必要な自立援助を提供出来る社会資源として自立援助ホームの可能性を大いに議論出来る大会にしたいと考えています。また、普段各ホームで奮闘しているスタッフが少しでも元気になれる様な大会を目指し、ささやかながら「おもてなし」を用意致しております。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

〈主 催〉 全国自立援助ホーム協議会

〈後 援〉 厚生労働省・神奈川県・横浜市

社会福祉法人全国社会福祉協議会・全国児童養護施設協議会
全国児童自立支援施設協議会・全国児童心理治療施設協議会・公益財団法人全国里親会
日本ファミリーホーム協議会・全国シェルターネットワーク・認定NPO法人児童虐待防止全国ネットワーク
社会福祉法人神奈川県社会福祉協議会・神奈川県児童福祉施設協議会
社会福祉法人横浜市社会福祉協議会・横浜市児童福祉部会
神奈川県社会福祉士会・神奈川県精神保健福祉士協会（後援団体は予定）

〈期 日〉 令和元年10月8日(火)～9日(水)

〈場 所〉 パシフィコ横浜会議センター503号室(研修会場)
ヨコハマグランド インターコンチネンタルホテル パシフィック(交流会場)
(〒220-0012 横浜市西区みなとみらい1-1-1 みなとみらい線 みなとみらい駅徒歩5分)

〈定 員〉 250名(先着順) ※交流会は200名とします

《大会スケジュール》

	12:00	13:00	13:30	14:00	15:00	15:15	15:30	16:45	17:00	18:30	20:30
10月8日(火)		受付	開会式	行政説明(30分)	基調講演(60分)	休憩	調研発表(15分)	講座(60分) (503号室)	事務連絡	移動・チェックイン	交流会
	9:00	9:30	11:00	11:15	12:15	12:30	13:00	13:30	13:45	14:15	
10月9日(水)		受付	グループ討議 (90分)	休憩(15分)	記念講演(60分)	閉会		横浜港クルーズ1便		横浜港クルーズ2便	

【第1日】10月8日(火)12:00～受付 パシフィコ横浜 503号室

※本大会は大会場(503号室)のみでの開催になります。

《開会式》 13:00～13:30 ○主催者挨拶 ○来賓挨拶 ○感謝状贈呈

《行政説明》 13:30～14:00 (30分) ○厚生労働省子ども家庭局 家庭福祉課長

《基調講演》 14:00～15:00 (60分)

『社会的養育における自立援助ホームの役割 ～現在の社会情勢にて何が求められているか!?!』

○講師 武藤 素明氏

(社会福祉法人二葉保育園常務理事、二葉学園・二葉むさしが丘学園・トリノス統括施設長)

○概要 児童を取り巻く情勢と、社会的養護の近年の動向についてご説明頂き、都道府県社会的養育推進計画において、求められている自立支援施策と、自立援助ホームの役割について何が求められているか等、現在の自立援助ホームの課題と期待をお話頂きます。

《休憩》(15分)

《調査研究発表》 15:15～15:30(15分)

「自立援助ホーム退居者の生活状況に関する調査」の中間報告

(全国自立援助ホーム協議会、「子どもの貧困に関する総合的研究」チーム協同研究)

《講座》 15:30～16:45(60分～)

「伴走支援の実際 ～ワンストップ支援における留意点～」

○講師 大塚 俊弘 氏 (川崎市こども未来局児童家庭支援・虐待対策室 担当部長、精神科医)

○概要 自立援助ホームに入居する児童、退居後支援で関わる青年は複雑・困難な背景を有しています。これからの自立援助ホームの支援に必要な伴走支援、ワンストップ支援の具体的な関わり方について、包括的かつ実践的なノウハウをお話頂きます。(スタッフの実務的な内容になっています。)

《事務連絡》 16:45～17:00(15分)

《各宿泊先チェックイン等》 17:00～18:30(90分) ※交流会会場(隣接)に荷物も置けます。

《交流会》 18:30～20:30(120分) 会場:ヨコハマグランド インターコンチネンタルホテル パシフィック

※パシフィコ横浜隣接

【第2日】10月9日(水) 9:00～受付 パシフィコ横浜 503号室 (※座席指定)

《グループ討議》 9:30～11:00(90分)

- ・テーマ「自立援助ホームが大切にしている事
～どの様な姿勢で利用者と向き合っているか？」
- ※1グループ8人(経験年数考慮)、前列の席の方が後列に反転します。

《休憩》(15分)

《記念講演》 11:15～12:15 (60分)

『自立援助ホームの未来を探る』

- 講師 龍尾 和幸 氏 (児童養護施設 新天地育児院 副院長、元東樹ホーム長)
- 概要 長年、東樹の実践において、自立援助ホームに通所機能、保護者のカウンセリング、ホーム内地域交流の催しや勉強会を展開。入所児童は児童相談所だけでなく、生活保護世帯の児童、20歳以上の青年を受入れ、市行政単独事業として22歳までの制度化を全国先駆けて実現。現在の国の制度化のモデルの一つとなる。未来の自立援助ホームに期待する事を踏まえ、参加者に夢と活力を与えるお話を頂きます。

《閉会式》 12:15～12:30 (15分)

- ※閉会后、オプションとして横浜港クルーズを用意しております(無料:先着各回35名×2回)
クルーズ希望の方は案内致します。(ぷかり棧橋:インターコンチネンタルホテル隣接)

◆参加費

参加費	夕食交流会費	※参加費には資料代(1,000円)が含まれています。
10,000円	8,000円	

※大会1日目又は2日目のみの参加の場合でも10,000円を参加費としていただきます。

◆特記事項

※会場について

会場は椅子(メモ台付)のみの配列になっております。
お荷物は大会会場(503号室)壁側、入口付近、交流会会場ではクローク、壁側などで保管出来ます。
貴重品等は自己責任にて管理をお願い致します。

※宿泊について

こちらでホテル等の確保はいたしておりません。宿泊は近隣のホテル等を各自で手配してください。

※申込方法

- ①下記 URL または右記 QR コードにて参加申し込みをしてください
(ホームページからの受付ができない方は事務局までご連絡ください)

<https://forms.gle/UejaQ5G3Z3kEpJzC6>

- ②申し込み受付が完了しましたら、参加費の請求書を FAX いたしますので期日までにお振込みください。



参加申し込み

QRコード

※領収書につきましてはお手元に残ります振込明細で代えさせていただきますが、
必要な場合は当日受付横で発行いたしますので、受付の際その旨お知らせください。

※振込が確認された時点で受付完了とさせていただきます。

※定員に限りがありますので、先着順で締め切らせて頂きます。

※9月10日締め切りとさせていただきます。

- ③受付が完了いたしましたら参加受付証をメールで送付いたしますので、当日印刷してご持参ください。

※大会一週間前(10/1)までに参加受付証が届いていない場合は下記連絡先までご連絡ください。

※大会一週間前(10/1)以降のキャンセルにつきましては返金いたしませんのでご容赦ください。

それ以前につきましては、手数料・送料等を引いた金額を振込又は現金書留で送らせていただき

ます。

◆連絡先

全国自立援助ホーム協議会 事務局(恒松)宛 042-492-4632 E-mail:zenjienkyou@gmail.com

<会場案内図>



左図:研修会場

パシフィコ横浜会議センター5F(503号室)

右図:交流会会場

ヨコハマグランドインターコンチネンタルホテル
3F パシフィック



<会場アクセス>



※ JR 東海道線「横浜駅」乗換で、みなとみらい線「みなとみらい」下車 徒歩 5 分となります。
パシフィコ横浜「会議センター」は地図上の右側の建物になります。